



志木二小だより

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小 検索

令和7年度2月2日号
志木市立志木第二小学校
志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

学校教育目標 **思いやりのある子 進んで学ぶ子 健やかな子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぼぼ	2/2現在
	77	69	81	82	81	84	9	483

「志木二小だより」の上段には、その月の「全校集会」で子供たちに伝えた内容を中心に掲載してまいります。よろしければ、ご家庭でも話題にいただけますと幸いです。

東日本大震災から学ぶこと

～今、できること。そして、6年生から5年生へのバトンタッチのはじまり～ 校長 佐々木 幸

2月を迎え、今年度も残すところあと2か月となりました。立春を迎えるとは言え、まだまだ厳しい寒さが続いております。また、インフルエンザ等の流行も心配される季節でもあります。くれぐれも、健康にはご自愛いただくとともに、お子様の健康管理も引き続きお願いいたします。

さて、先日の全校集会は、12月号でもお知らせいたしました「児童動線安全化工事」のため体育館の電気が使えない状態で行いました（終日、体育館の電気が使えない期間は1月30日（金）からの3日間でした。）。普段の全校集会では、体育館の大きなスクリーンに写真等を映し出し出ることができるのですが、今回の全校集会では電気が使うことができませんでしたので、プロジェクターも使うことができません。そこで、今月は、東日本大震災の時の体育館で避難している様子の写真を3枚使い、子供たちと当時の様子を想像しながら、話を進めていきました。1枚目の写真は、大地震が発生した日の午後20時過ぎの仙台市内の小学校の写真でした。暗闇の中、ストーブの明るさだけが写る写真からは、「電気が使えないと、とても不便だ。」と感してくれました。2枚目は、震災から数日後。中学校の体育館で毛布で暖をとって避難したり、高校生が昼食を配ったりしている写真。2枚目の写真からは「みんなで協力することの大切さ」を感じてくれました。そして、3枚目は、避難所となった学校で、高校生が小さな男の子に絵本を読んだり、小学生が昇降口で避難している方々にボランティアとして挨拶をしたりしている写真。2枚目の写真までは、それぞれの写真から感じたことを考えてもらいましたが、3枚目は「災害があったからではなく、今できそうなことは？」と聞いてみました。6年生は、「みんなが元気になるために挨拶をする。」「困っている人に募金をする。」「困っている人がいたら助ける。」と答えてくれました。その後、5年生に聞いてみると「人のためになることをする。」「食べることに困っている人に食料を寄付する。」「できるだけ人助けをする。」「相手のことを考えて発言をする。」と答えてくれました。もちろん大きな災害等があった時もそうですが、普段から自分たちのできることを、そして、相手の立場に立って考えることができる高学年の皆さんがとても頼もしく思えます。これも今までの先輩方や保護者・地域の方々が創ってくださった、そして大切にしてきた志木二小の文化だと強く感じました。

<志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～①>

1月24日（土）恒例のおやじクラブさんによる「おもちつき」が開催されました。前日の準備、そして当日も朝早くから子供たちのためにお力をお借りしました。当日は、志木二小・志木四小の子供たちが、たくさん集まり、威勢の良い掛け声の中、重たい杵で餅をつかせていただきました。つきたてのお餅を食べる経験も少なくなってきたでしょうか。子供たちの生き生きとした表情からも、おやじクラブの皆様をはじめ、たくさんの方々に支えていただいていることに改めて感謝いたします。



<志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～②>

1月16日に志木二中学区合同研修会を行いました。研修会の中では「いずみの森義務教育学校」への視察報告や今年度の小中連携の成果や課題について話し合いました。一堂に会することで、それぞれの学校の取組や良さを改めて確認できる貴重な場となりました。今後も、3校で連携し合い、子供たちのより良い未来に向け「社会で胸を張って自己実現できる子」の育成に取り組んでまいります。

